

【オプアウト文書】

大阪大学 生物工学国際交流センターで行われている臨床研究について記載します。

課題名 『脂質代謝に関わるタンパク質であるリポタンパク質リパーゼ断片を用いた動脈硬化の超早期診断システム開発』

承認番号 R 人 61

研究の目的と方法

リポタンパク質リパーゼは、血中の中性脂肪を分解する酵素です。本酵素の異常や低下は、循環血中の中性脂肪が高値となる高中性脂肪血症を引き起こします。本研究の目的は、このリポタンパク質リパーゼが動脈硬化性疾患のバイオマーカーに利用できるかどうかを調べるための簡便な測定系の開発とその有効性の確認です。開発した測定系の有効性は、既に採血保存している血漿検体を使用して調べます。

研究責任者： 藤山和仁・大阪大学 生物工学国際交流センター センター長・教授

研究実施予定期間： 2021年3月17日～2022年3月31日

研究の対象

既存試料のみを使用しますので、新規の試料採取はいたしません。

既存試料の対象者と試料の種類

研究実施担当の高木が国立循環器病研究センター在職時の2009年1月20日～2017年2月15日の期間に、他の医療機関から依頼されて、高中性脂肪血症の原因を解析した患者様と御家族の方で、検体の残余があり、他の研究にも余剰検体を使用しても良いという同意をいただいている方の血漿とヘパリン静注後血漿。

他の医療機関とは、以下のとおりです。

- (1) 高知大学
- (2) 東京医科大学八王子医療センター
- (3) 県西部浜松医療センター
- (4) 国立病院機構仙台医療センター
- (5) 市立宇和島病院
- (6) 浜の町病院
- (7) 広島市立広島市民病院
- (8) 伊勢原協同病院
- (9) 京都府立医科大学附属病院

共同研究企業

住友ベークライト株式会社

プライバシーの保護

プライバシー確保のため、検体はすでに匿名化されています。また、研究結果を学会等で公表した場合でも、患者さん個人が特定されることはありません。

ご自身の検体を研究に使ってほしくないとお考えの場合には、下記にお申し出ください。

試料・情報管理責任者 研究分担者 高木敦子（電話 06-6879-4972／電子メール
takagi * icb.osaka-u.ac.jp *を@に変えてください）